

第7期北方領土隣接地域振興計画 実施計画

市 町 名	羅臼町
重点施策名	2新たな観光メニュー創造に向けた基盤整備

1 目指す目標(長期目標)
世界自然遺産「知床」の知名度を生かし、ホエールウォッチング、北方領土視察などの体験型観光の推進と定着を図ることにより、観光入り込みとリピーターを増大し、滞在型・体験型観光を確立する。

2 目標達成に必要な対象群の変化内容		
番号	変化や働きかけを行う対象群	必要な変化(維持する内容)
1	観光協会	観光情報の発信や受入体制の強化
2	道内及び道外の旅行者	羅臼町の知名度の向上
3	道路等交通基盤の整備	地域高規格道路及び国道の整備
4	観光施設など	観光拠点となる施設の整備及び機能充実

3 2の変化(維持)を実現するためのプロセス(工程表)				
番号	実施する内容	実施主体	実施期間	実施による到達レベル
1	情報発信の強化	観光協会	H25～	ホームページの閲覧件数の増加(H24年度) フェイスブックの開設(平成26年度)
2	体験型観光の開発と充実	観光協会 民間	H25～	体験型観光の利用者の増加(H24年度)
3	修学旅行生誘致(体験学習)	団体	H25～	道内・外からの修学旅行生の増加及び体験型観光の利用者の増加(H24年度)
4	道外でのPR活動	町 観光協会	H25～	羅臼町の知名度向上(ホームページの閲覧件数の増加(平成24年度) 道外観光客観光入り込み数の増加(H24年度) フェイスブックの開設(平成26年度)
5	観光拠点施設の整備及び機能充実	国、町	H25～	施設利用者の増加(H24年度)
6	地域高規格道路及び国道の整備	国・道	H25～	整備率の向上

第7期北方領土隣接地域振興計画 実施計画

市 町 名	羅臼町
重 点 施 策 名	2新たな観光メニュー創造に向けた基盤整備

1 目標達成に向けた内的外的な課題及び現状認識		
内部環境 (市町及び地域の関係者の経営資源)	強み	世界自然遺産「知床」・知床国立公園の知名度 ホエールウォッチングや流水ダイビングなどオンリーワンの体験観光素材 北方領土国後島をまじかに望むことができる環境
	弱み	北海道の東に位置し、旅行日数・費用が他の地域よりかかる立地条件 国道334号(知床横断道路)の冬期通行止めや二次交通がないことによりアクセスが困難 体験観光内容が天候に左右されやすいものが前面に出ている現状
外部環境 (市町を取り巻く環境)	機会	オリンピック開催決定を契機に国内資源「知床」への注目 国の北方領土対策強化による隣接地域への関心の高まり 「和食」が世界遺産に登録されたことによる昆布等の水産資源への注目
	脅威	国内他地域の世界遺産の登録 LCCなど他のホエールウォッチング地域へのアクセス改善 原油価格の高騰により移動費用の負担が増加することによる道内旅行者の減。

2 参考とする指標
<ul style="list-style-type: none"> ・北海道観光入込客数 5,098万人(平成24年度) ・羅臼町観光入込客数の推移 535,041人(平成24年度) ・ホエールウォッチング利用者数 21,268人(H24年度末) ・修学旅行生来町者数 1,151人(平成24年度末) ・国後展望塔来館者数 25,423人(H24年度末) ・羅臼ビジターセンター来館者数 35,298人(平成24年度末) ・ルサフィールドハウス来館者数 7,373人(平成24年度) ・ホームページ閲覧件数 168,237件(平成24年度) <p>地域高規格道路釧路中標津道路＝事業区間100kmのうち、供用区間18km(H27年度末) 地域高規格道路根室中標津道路＝計画区間40kmのうち、供用区間8km(H27年度末)</p>

3 民間が実施主体の場合に市町が行う取組促進の内容
補助金または負担金の支出 PR活動への参加・協力